

兵庫県保険医協会神戸支部 第40回総会・記念講演のご案内

# 次世代乳がんスクリーニングのための 世界初のマイクロ波マンモグラフィの実現



日時 10月19日(土)14時30分～16時30分

総会議事 2時30分～、記念講演 3時～、終了後懇親会（無料）

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

講師 神戸大学数理データサイエンスセンター 教授  
木村 建次郎先生

参加費 無料

乳癌検診における現行の世界標準はX線透過撮像法であるが、アジア人の50歳未満の80%はコラーゲン繊維を豊富に含む高濃度乳房を持ち、受診の意義が問われている。超音波は脂肪組織における著しい減衰およびインピーダンスミスマッチングの課題がある。

この問題を解決するために、我々は、応用数学上の未解決問題の一つである散乱の問題を解析的に解く、多重経路散乱場理論を確立し、マイクロ波マンモグラフィを実現した。脂肪およびコラーゲン繊維は低導電率、低誘電率、乳癌組織は高誘電率のため、高いコントラスト比が得られ、高濃度乳房においても高感度に乳癌検出が可能となる。これまで約400人の臨床研究を実施し、その性能を実証した。今後、世界の乳癌スクリーニングの標準化に向けて、開発と普及活動を進め、乳癌で苦しむ患者と家族を救うことができるように努力したい。

【講師略歴】2001年京都大学工学部卒業、06年同大学大学院工学研究科博士課程修了、08年神戸大学大学院理学研究科講師、12年同准教授、18年神戸大学数理データサイエンスセンター教授。応用数学の未解決問題「散乱の逆問題」を世界で初めて解決。マイクロ波マンモグラフィの開発により、第1回日本医療研究対象AMED理事長賞受賞

\*お問い合わせは TEL 078-393-1807 神戸支部担当 小西・前川まで

【神戸支部第40回総会参加申込】FAX 返信：078-393-1820 ---

- ・総会議事（2時30分～） 参加 不参加（議事の一切を議長に委任します）
- ・記念講演（3時～4時30分） 参加（ ）人 不参加
- ・懇親会（記念講演終了後） 参加 不参加

\*会場：中華菜館「龍郷」 参加無料

地区 \_\_\_\_\_ 医療機関・施設名 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_ 職種 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

兵庫県保険医協会

329号 2019年9月25日

## 神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

神戸市と小児医療について懇談

### 療育施設の増設・充実を



障害児を支えるための医療の  
充実を求めた森岡先生（右）

協会神戸支部は8月26日、療育施設の増設・充実や病児保育園の増設などを求め、神戸市と懇談を行った。この懇談は、6月に、小児救急体制や小児病床の維持を求め、地域医療課と懇談したことに続くもの。協会からは、森岡芳雄副理事長が参加し、神戸市は障害者支援課の奥谷由貴子課長、こども家庭局こども育成部家庭支援課の吉井良英課長らが対応した。

森岡副理事長は、長期間の待ち時間が常態化している障害児の療育施設について改善を要請。神戸市は、初診までに市内の施設で2～3カ月待ち、作業療法で半年待ちなどの状況があると認め、改善の必要性は認識していると回答した。

障害児・家族が利用できる医療や福祉制度の説明・手続きを行うケアマネジャーのような支

援員の配置を求めたことに対しても、その役割を担う相談支援専門員が育っていないのが現状で、必要性は認識しているとした。

障害児がショートステイやレスパイト入院できる施設の増設については、家族からも要望が非常に強く、2021年に中央区に新施設が開設される予定とした。病児保育園を行っている医療機関への補助の増額については、少しずつ増額していきたいと回答があった。

森岡副理事長は、障害児の在宅医療や入院受け入れを行う医療機関が少ない背景には低診療報酬があるとし、神戸市にこのことを認識の上、問題の改善のために具体的取り組みを進めてほしいと重ねて要望した。神戸支部では、引き続き、医療改善のため取り組みを行っていく。

神戸支部会員インタビュー 認知症カフェ「りんりんカフェ」を運営

# 気軽に足を運んでももらえる場所 つきたい

「オレンジリング」を持つ鈴木先生



灘区・歯科 鈴木 明彦

認知症の人やその家族、独居の高齢者が交流できる場所を提供したい。灘区・鈴木歯科医院の鈴木明彦副支部長は、灘区にある認知症カフェ「りんりんカフェ」の運営に携わっている。鈴木副支部長に、「りんりんカフェ」の活動内容や課題、思いなどを伺った。

地域で認知症に対する理解を広げ、高齢者が気軽に集まれる場所を提供したいという思いで、自治会、介護事業所、神戸市のあんしんすこやかセンター（高齢者の介護相談窓口）などの構成メンバーでこのカフェを立ち上げました。あんしんすこやかセンターに後援していただき、「りんりんカフェ」を灘区の訪問看護ステーション

で毎月第2水曜日に開催しています。「りんりんカフェ」という名前は私の苗字の鈴木鈴からきています。「どうして歯科の先生が認知症カフェに？」と思われる方もいるかもしれませんが、独居の方が増えている中、皆で食事をする機会が減ってきている方もいらっしゃる（3面につづく）

## 企画紹介

安心と笑顔の社会保障ネットワーク

第4回総会・講演会

# 「成年後見制度」知っていますか？

～制度の現状と課題について～

日時 10月14日（月・祝）14時～16時30分（13時30分開場）  
講師 川元 志穂 弁護士 会場 神戸市勤労会館（三宮駅から東へ徒歩5分）  
参加費 500円（どなたでも参加できます）  
主催 安心と笑顔の社会保障ネットワーク

お問い合わせは、☎078-361-3655 安心ネット事務局まで

（3面からのつづき）

います。「噛む」ということは大切なことです。食事の時に噛むことを意識すると脳が活性化されると言われます。

私は「このカフェに気軽に足を運んでもらい、集まった人たちとお茶を飲みながらおしゃべりをして楽しくわいわい過ごしてほしい」という思いから携わるようになりました。このカフェに足を運んでもらうだけでもちょっとした運動になりますし、人との交流で認知症の予防にもつながっていると思います。認知症の人やその家族、独居の方などが集まり、不安や悩みを交流したり、カードなどを使った遊び（右上写真）等を行っています。

このカフェの運営に携わるためには、認知症についての正しい知識を得ることも必要です。私は神戸市が各区で開催している「認知症サポート養成講座」に参加しました。この講座を受講した人には「オレンジリング」が配られ、この



カフェでのカードを使った遊びの様子

リングを身につけている人は、認知症の方を支援できるサポーターとして認定されます。認知症の方が増えている中、知識を正しく得て、地域で認知症の方を支援していくことは今後さらに重要になります。

運営に関わるようになって、独居の高齢者の憩いの場を提供できましたが、認知症の方の症状がさまざまに個別の対応が求められるといった課題もあります。気軽に高齢者が足を運んでももらえるような場所を提供していくためにも、今後はカフェでのイベントも充実させていきたいと思っています。

## 兵庫県保険医協会 神戸支部 評議員・予備評議員（医科）選挙の公示

兵庫県保険医協会  
理事長 西山 裕康

協会規約第31条の2及び協会役員等選出規定の第3条の2により、評議員・予備評議員（医科）選挙の公示を行います。

兵庫県保険医協会規約 第32条

- 評議員は、本会の方針に沿い、各支部又は歯科部会の活動の中心となる。
2. 評議員は各支部又は歯科部会を代表し、所属する会員の意見を集約し評議員会に反映する。
  3. 予備評議員は、評議員を補佐するとともに、評議員会に評議員欠席の際には評議員として出席する。

【任期】 2年

【改選日】 10月19日（土） 神戸支部第40回総会（会場：保険医協会5階会議室）

【立候補日時締切】 10月12日（土） 正午 ※改選日の1週間前

【立候補届出の方法】

立候補希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。「立候補届」に必要な事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。なお、歯科については歯科部会で選出します。